



# 発表資料

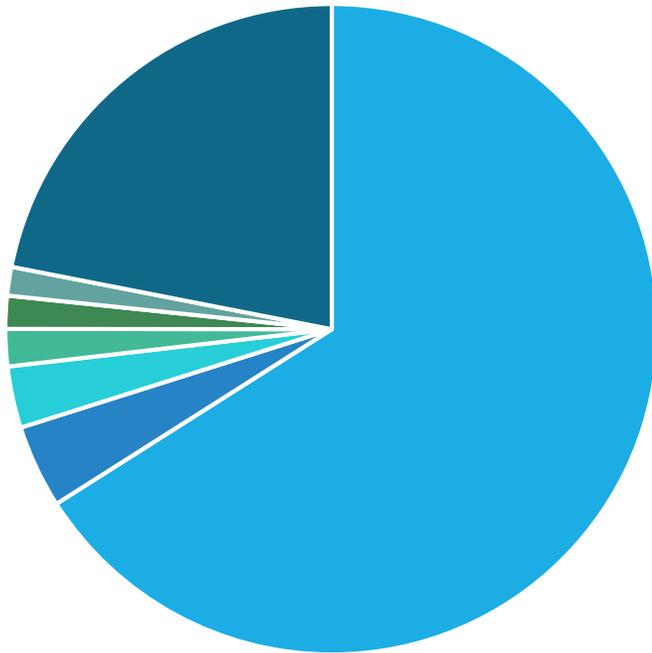
慶應義塾大学法学部 大屋雄裕

# 行政基盤としての自治体の状況

- 市町村合併は（東京・神奈川と同様に）進まなかった。
  - だが合併すればいいというものでもない（現状保障への期待）。
- 構造としては、都府県の内外ともに多極分散的。
  - 東京……区部への一極集中、周辺都市との格差。
  - 愛知……名古屋の存在感、隣接県には大都市不在。
  - 大阪……有力自治体の散在、京都・神戸という周辺大都市との関係。
- 中小規模の市が数多く存在（東京の市部と共通）。
  - これから本格的な高齢化・人口減少に直面 → 現状のままでは困難に直面？

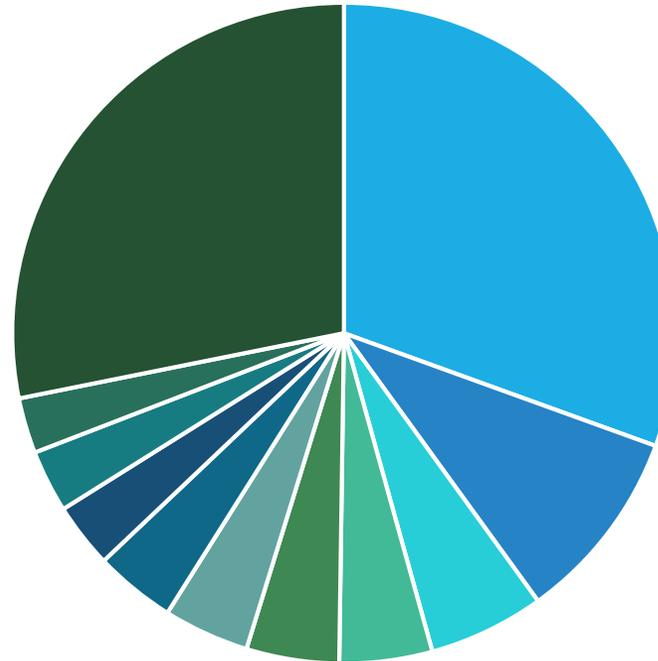
# 都道府県内の構造

東京都



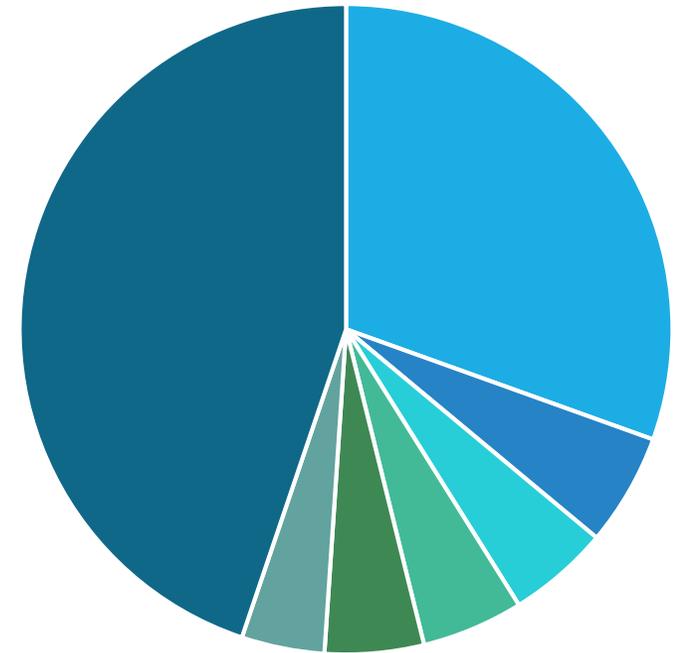
■ 区部 ■ 八王子 ■ 町田 ■ 府中 ■ 調布 ■ 西東京 ■ その他

大阪府



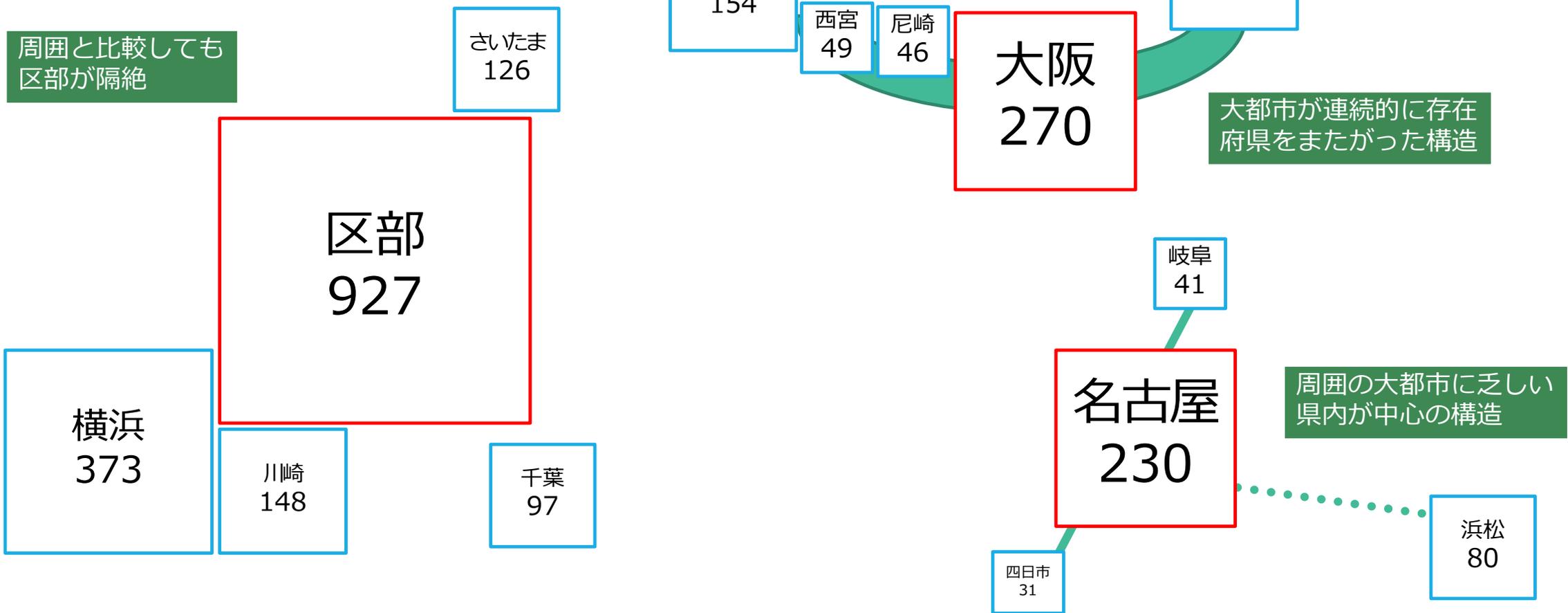
■ 大阪 ■ 堺 ■ 東大阪 ■ 枚方 ■ 豊中 ■ 吹田  
■ 高槻 ■ 茨木 ■ 八尾 ■ 寝屋川 ■ その他

愛知県



■ 名古屋 ■ 豊田 ■ 岡崎 ■ 一宮 ■ 豊橋 ■ 春日井 ■ その他

# 周辺部との構造



# 課題……府県・市町村連携

- 中心なき構造
  - cf. 連携中枢都市圏・定住自立圏……中心と周辺という構造での連携
- 府県レベル……関西広域連合のような枠組みの実質化？
- 市町村レベル……類似規模の市町による連携（圏域の形成）
  - 情報基盤の統一化・標準化による事務処理の弾力化
    - → スマートシティ戦略・データ連携の重要性
  - 合成の誤謬を回避する必要
    - → 計画の整合性確保・共同作成？

# 他都市との対比……「世界」のイメージ

- ひとまず大学の話として
  - 東京……トップ校としての総花的関係
  - 京都……アフリカ
  - 名古屋…フロンティア・アジア（中国周辺の新興経済）
  - 北海道…スラブ
  - 九州……韓国・中国
  - 大阪……ASEAN？

製造現場の新興国移転  
産業界からの期待・要請  
他大学との差異化

ターゲットによって  
施策・手法が変わってくるのでは

# おおまかな方向性

- 「第二位」を確実にしていく
  - 一回り小さな東京……東京の施策にどう対抗するか（eg. 羽田国際化）
- 「第二位」＋個性ある都市
  - 職住近接？ スマート化？ 健康と安全？
- ニッチトップ（「ここにしかないもの」の提供）
  - eg. 観光……長期滞在、体験型、ダークツーリズムetc.